

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
220311032	解剖生理学 I Anatomy and Physiology I	内田 友乃			2	必修	1前期

科目の概要

管理栄養士に必要な専門知識・技能を身に付け、人々の日常生活を健康の面から支援することができる人物の育成を目指す（DP3,4）。専門的な知識・技能の習得には、社会的に自立して生きていく上で必要な一般的なスキル・リテラシー・教養等も必要になるため、授業での学びを通して習得していく（DP2）。この科目では、管理栄養士として社会で貢献するために不可欠な知識、ヒトの体の構造と機能を学び、今後学修する専門知識や技能の習得に役立てる。具体的には、人体がどのような細胞、組織、器官（臓器）によって構成されているのかを学修する。また、正常な状態のヒトの身体機能を理解し、疾病など様々な状態のヒトの機能との違いを学修する。

学修内容	到達目標
① 人体の構造を学ぶ。 ② 人体の各器官を構成する組織・細胞を学ぶ。 ③ 人体の各器官の場所・名称を学ぶ。 ④ 人体の各器官の正常な状態でののはたらきを学ぶ。	① 人体の各器官の構造を記憶し、他者説明できる。 ② ヒトの細胞や組織の形態、それらの特徴やはたらきを理解し、他者に説明できる。 ③ 人体の各器官の場所および名称を記憶し、他者に説明できる。 ④ 各器官の正常な状態でののはたらきを理解した上で、疾病など様々な状態での機能の違いを認識して、臨床への応用に生かすことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業内容の理解のために、事前に教科書や参考書等を使って予習をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	予習や復習を自身のやり方や計画に沿って進められる。予習と復習で、能率よく自己学習を進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	授業での疑問点を、授業後に教科書や参考書等を使って自己学修し、知識として蓄積させることができる。
	計画力	
	創造力	授業内で生じた疑問点や課題に対し、どのような行動をすることで解決できるか考えることができる。
チームで働く力	発信力	与えられた課題を、わかりやすい内容にまとめて提出できる。他者に対して自身の考えを伝えることができる。
	傾聴力	講義内容や相手の意見を丁寧に関心する（読み取る）ことができる。他者に意見を聞いたうえで、自分の考えを述べるすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。提出物は期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書：栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 改訂第3版 志村二三夫、岡純、山田和彦編 羊土社
 参考図書：ぜんぶわかる人体解剖図 著：坂井建雄、橋本尚詞 成美堂出版
 必要に応じて、補足のプリントを配布する。

他科目との関連、資格との関連

「解剖生理学Ⅱ」や「解剖生理学実習Ⅰ・Ⅱ」に繋がる科目である。同時期に履修する「生物学入門」や「生化学」、今後履修する「基礎栄養学」と関連させながら理解を深める。さらに、その後に履修する「臨床医学」や「臨床栄養学」の基礎となる科目でもある。
 関連する資格：栄養士、管理栄養士、食品衛生管理者・監視員、健康運動実践指導者、栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
中学の理科、高校の生物基礎や基本的な化学の知識が必要となる。特に生物基礎の「生物の特徴」「遺伝子とその働き」「生物の体内環境」のところは復習しておくこと。 予習・復習は必ず行うこと。覚えることが多いため、図を上手く利用しながら、絵をしっかりと記憶し、他者に説明できるようになると知識が定着しやすくなる。	テキストと配布した資料は、毎時間持参する。手元がない資料は事前に研究室に取りに来ること。 予習と復習を必ず行い、提出物は毎時間初めに提出すること。 毎時間復習テストを実施するため、復習をしっかりとすること。 ディスカッションやクラス内での発表は積極的に参加し、クラス全体で理解を深めようとする。 他者に迷惑になる行為をする者は、退室してもらう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓			授業で学んだ基本的な知識が身についているかを重視する。 特に授業中に説明したキーワードが理解できているかを確認する（キーワードの選択、文章の訂正、キーワードの説明をする記述式問題等）。 復習テストや確認テスト、演習問題を進んで解き、復習によって理解できているかを確認する。 筆記試験の構成割合は、知識の獲得60%、活用30%、解決10%とする。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
	平常評価	小テスト	20	①	✓			授業の理解度を確認するために、毎回復習テストと確認テストを実施する。 テストでは、授業で学んだ基本的な知識が身についているかを確認する。 復習テストおよび確認テストの構成割合は、知識の獲得90%、活用10%とする。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①	✓			单元ごとに理解度を図る演習問題をグループで作成する。 出題基準に準じているか、文言に誤りや分かりにくい点がないか、正しい内容であるかを評価する。 また、演習問題の解説もグループで作成し、分かりやすく、正しい内容であるかを評価する。 演習問題の作成は、知識の活用が50%、解決が50%とする。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）自ら知識を深める姿勢・行動がみられること （実行力）自己の学修目標を設定してその達成に努力すること。 （課題発見力）授業内で生じた疑問点や課題を自己学修で解決しようとする事。 （創造力）インターネットなどで流布されている情報を確認し、信頼性を自分で判断できること。 （発信力）授業内容を分かりやすくまとめること。自身の考えを伝えられること。 （傾聴力）授業に集中し、内容を理解し、要点を記録できること。 （規律性）教室でのマナーを守り、質の高い学びの場にできる。提出物を期限に提出することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
人体の構造を細胞・組織レベルで記憶・理解している。また、各器官の役割や連携についても記憶・理解している。特に、各器官の正常なはたらきについては、自分の言葉で他者にわかりやすく説明することができる。講義内で得た知識を元に、その理解度を図る演習問題を出題基準に則って作成し、その解説を自分の言葉で他者に説明することができる。上記を筆記試験、小テスト、成果発表および社会人基礎力で総合的に評価し、90点以上をS(秀)、80－89点をA(優)とする。	人体の構造を細胞・組織レベルで記憶している。また、各器官の役割や連携についても記憶している。各器官の正常なはたらきについては、ある程度自分の言葉で他者に説明することができる。演習問題作成は、出題基準に則って出題することができ、他者にも理解できる解説をつけることができる。上記を筆記試験、小テスト、成果発表および社会人基礎力で総合的に評価し、70－79点をB(良)、60－69点をC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	○人体の階層性 人体を構成する細胞と細胞内小器官、組織、臓器、器官と、その働きを理解する。	講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、課題の提出、質問対応	人体を構成する細胞と細胞内小器官、組織、臓器、器官と、その働きを説明できる。	（予習）教科書p.18-48を読み、予習課題を行う。 （復習）復習課題（疑問点調べ、演習問題の作成）を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	○骨格系1 骨の構造、発生と成長、骨の組成、関節の基本構造と種類について理解する。	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	骨の構造、発生と成長、骨の組成、関節の基本構造と種類について説明できる。	（予習）教科書p.148-150、155-159を読み、予習課題を行う。 （復習）復習課題（疑問点調べ、演習問題の作成）を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	○骨格系2 主要な骨と関節について、名称と機能を記憶し理解する。	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	主要な骨と関節について、名称と機能を説明できる。	（予習）教科書p.150-154を読み、予習課題を行う。 （復習）復習課題（疑問点調べ、演習問題の作成）を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○筋系1 筋肉の種類、骨格筋の作用・構造・機能を理解する。	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	筋肉の種類、骨格筋の作用・構造・機能を説明できる。	（予習）教科書p.160-170を読み、予習課題を行う。 （復習）復習課題（疑問点調べ、演習問題の作成）を行う。小テストの直しをする。		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	○筋系2 人体の主要な筋肉の名称と機能を記憶し理解する。	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	人体の主要な筋肉の名称と機能を説明できる。	（予習）教科書p.160-162、人体解剖図p.38-41を読み、予習課題を行う。 （復習）復習課題（疑問点調べ、演習問題の作成）を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	○循環器系 心臓の構造と血管の種類と機能を記憶し理解する。主要な血管の名称と走行を記憶する。	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	心臓の構造と血管の種類と機能を説明できる。 主要な血管の名称と走行を説明できる。	（予習）教科書p.90-93,96-101を読み、予習課題を行う。 （復習）復習課題（疑問点調べ、演習問題の作成）を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	○血液とリンパの構成 血液とリンパの構成成分と作用を理解する。	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	血液の細胞成分の形態の特徴と機能を説明できる。 リンパ系の構成を説明できる。	（予習）教科書p.73-84を読み、予習課題を行う。 （復習）復習課題（疑問点調べ、演習問題の作成）を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	○呼吸器系 呼吸器系を構成する器官の構造と機能を記憶し理解する。	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	呼吸器系を構成する器官の構造と機能を説明できる。	（予習）教科書p.111-115を読み、予習課題を行う。 （復習）復習課題（疑問点調べ、演習問題の作成）を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	○消化器系1 消化官の構造と機能を記憶し理解する。	復習テスト(解答・採点・解説) 講義(予習課題の解説含) ディスカッション 確認テスト(解答・採点) Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	消化器系を構成する器官の名称と場所を説明できる。 消化管の部位による構造と機能の違いを説明できる。	(予習)教科書p.49-58を読み、予習課題を行う。 (復習)復習課題(疑問点調べ、演習問題の作成)を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	○消化器系2 肝臓、膵臓、胆嚢の構造と機能および消化吸収のしくみを記憶し理解する。	復習テスト(解答・採点・解説) 講義(予習課題の解説含) ディスカッション 確認テスト(解答・採点) Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	肝臓、膵臓、胆嚢の構造と機能、各器官の消化吸収のしくみを説明できる。	(予習)教科書p.58-72を読み、予習課題を行う。 (復習)復習課題(疑問点調べ、演習問題の作成)を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力
11	○泌尿器系 泌尿器系を構成する各器官の構造と機能を記憶し理解する。	復習テスト(解答・採点・解説) 講義(予習課題の解説含) ディスカッション 確認テスト(解答・採点) Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	泌尿器系を構成する器官の名称と場所を説明できる。 腎臓の構造と尿の生成を説明できる。	(予習)教科書p.126-131を読み、予習課題を行う。 (復習)復習課題(疑問点調べ、演習問題の作成)を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	○生殖器系 男性・女性の生殖器の構造と機能を理解する。 性の決定と発育過程を理解する。	復習テスト(解答・採点・解説) 講義(予習課題の解説含) ディスカッション 確認テスト(解答・採点) Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	男性と女性の生殖器系を構成する器官の名称と機能を説明できる。 性の決定と男女の発育過程の違いを説明できる。	(予習)教科書p.139-146を読み、予習課題を行う。 (復習)復習課題(疑問点調べ、演習問題の作成)を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	○内分泌系1 内分泌系の概念と概要を理解する。	復習テスト(解答・採点・解説) 講義(予習課題の解説含) ディスカッション 確認テスト(解答・採点) Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	内分泌系の基本概念とホルモン作用の調節機構について、説明できる。	(予習)教科書p.173-178を読み、予習課題を行う。 (復習)復習課題(疑問点調べ、演習問題の作成)を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	○内分泌系2 視床下部下垂体系ホルモンについて名称と機能を記憶し理解する。	復習テスト(解答・採点・解説) 講義(予習課題の解説含) ディスカッション 確認テスト(解答・採点) Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	視床下部下垂体系ホルモンの、名称、生理作用を説明できる。視床下部下垂体系ホルモンの分泌調節機構について説明できる。	(予習)教科書p.178-183を読み、予習課題を行う。 (復習)復習課題(疑問点調べ、演習問題の作成)を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	○内分泌系3 その他の末梢ホルモンについて名称と機能を記憶し理解する。	復習テスト(解答・採点・解説) 講義(予習課題の解説含) ディスカッション 確認テスト(解答・採点) Google classroomを活用した資料の配布、質問対応	カルシウム代謝調整ホルモン、甲状腺ホルモン、性腺ホルモンについて、生理作用と分泌調節機構を説明できる。	(予習)教科書p.183-191を読み、予習課題を行う。 (復習)復習課題(疑問点調べ、演習問題の作成)を行う。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
220312033	解剖生理学Ⅱ Anatomical and PhysiologyⅡ	内田 友乃			2	必修	1後期

科目の概要

管理栄養士に必要な専門知識・技能を身に付け、人々の日常生活を健康の面から支援することができる人物の育成を目指す（DP3,4）。専門的な知識・技能の習得には、社会的に自立して生きていく上で必要な一般的なスキル・リテラシー・教養等も必要になるため、授業での学びを通して習得していく（DP2）。この科目では、解剖生理学Ⅰで学修した、人体を構成する細胞、組織、器官（臓器）の知識を基に、それぞれの器官系のはたらきメカニズムを学修する。具体的には、神経系や内分泌系によって調節されている、血圧調節や血糖調節などのしくみを理解する。また今後医学的な知識を習得する際に基礎となる力を育成することを目的とする。

学修内容	到達目標
① 人体の各器官の役割を学ぶ。 ② 人体の各器官の連携を学ぶ。 ③ 人体の各器官の正常な状態でのはたらきを学ぶ。	① ヒトの成り立ちの基本である各器官の役割を理解して、他者に説明することができる。 ② 各器官の連携を理解して、他者に説明することができる。 ③ 各器官の正常な状態でのはたらきを理解した上で、疾病など様々な状態での機能の違いを認識して、臨床への応用に生かすことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業内容の理解のために、授業時間外に教科書や参考書等を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	予習や復習を自身のやり方や計画に沿って進められる。予習と復習で、効率よく自己学修を進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	予習や授業時間内に疑問点を探し、授業時間外に教科書や参考書等を使って自己学修をすることで知識として蓄積させることができる。
	計画力	
	創造力	授業内容を理解し、その理解度を図る演習問題を作成することができる。
チームで働く力	発信力	与えられた課題を、分かりやすい内容にまとめて提出できる。他者に対して自分の考えを伝えることができる。
	傾聴力	講義内容や相手の意見を丁寧に関心する（読み取る）ことができる。他者の意見を聞いたうえで、自分の考えを述べるすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物は期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書：栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 改訂第3版 志村二三夫、岡純、山田和彦編 羊土社
 参考図書：ぜんぶわかる人体解剖図 著：坂井建雄、橋本尚詞 成美堂出版
 必要に応じて、補足のプリントを配布することもある。

他科目との関連、資格との関連

すでに履修した「解剖生理学Ⅰ」や「生物学入門」の知識を活用して学修し、「解剖生理学実習Ⅰ・Ⅱ」に繋がる科目である。同時期に履修する「生化学」や「基礎栄養学」と関連させながら理解を深める。さらに、その後履修する「臨床医学」「臨床栄養学」等の基礎となる科目でもある。
 関連する資格：栄養士、管理栄養士、食品衛生管理者・監視員、健康運動実践指導者、栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
前期で学んだ「解剖生理学Ⅰ」および「生物学入門」の内容をきちんと理解しておく必要がある。また、中学の理科、高校の生物基礎や基本的な化学の知識が必要となる。 予習・復習は必ず行うこと。 理解をして覚えることを意識し、他者に説明して理解を深めると知識が定着しやすくなる。	テキストと配布した資料は、毎時間持参する。手元がない資料は事前に研究室に取りに来ること。 予習と復習を必ず行い、提出物は毎時間初めに提出すること。 毎時間復習テストを実施するため、復習をしっかりとすること。 ディスカッションやクラス内での発表は積極的に参加し、クラス全体で理解を深めようとする。 他者に迷惑になる行為をする者は、退室してもらう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓			授業で学んだ基本的な知識が身についているかを重視する。特に授業中に説明したキーワードが理解できているかを確認する（キーワードの選択、文章の訂正、キーワードの説明をする記述式問題等）。復習テストや確認テスト、演習問題を進んで解き、復習によって理解できているかを確認する。筆記試験の構成割合は、知識の獲得60%、活用30%、解決10%とする。
				②	✓			
				③	✓			
	平常評価	小テスト	20	①	✓			授業の理解度を確認するために、毎回、復習テストと確認テストを実施する。テストでは、授業で学んだ基本的な知識が身についているかを確認する。復習テストおよび確認テストの構成割合は、知識の獲得90%、活用10%とする。
				②	✓			
				③	✓			
		レポート	0	①				
				②				
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①	✓			单元ごとに理解度を図る演習問題をグループで作成する。問題の内容やその解説を評価する。評価基準は、出題基準に準じているか、文言に誤りはないか、文章に矛盾はないか、解説は正しい内容かつ分かりやすいかを評価する。演習問題の作成は、知識の活用が50%、解決が50%とする。
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）自ら知識を深める姿勢・行動がみられること （実行力）自己の学修目標を設定してその達成に努力すること。 （課題発見力）授業内で生じた疑問点や課題を自己学修で解決しようとする事。 （創造力）インターネットなどで流布されている情報を確認し、信頼性を自分で判断できること。 （発信力）授業内容を分かりやすくまとめること。自身の考えを伝えられること。 （傾聴力）授業に集中し、内容を理解し、要点を記録できること。 （規律性）教室でのマナーを守り、質の高い学びの場にできる。提出物を期限に提出することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
各器官の役割、はたらきのメカニズムおよび各器官の連携についてしっかりと記憶・理解している。特に、血糖値や血圧などのさまざまな調節機構を自分の言葉で論理的に説明することができる。講義内で得た知識を元に、その理解度を図る演習問題を出題基準に則て作成し、その解説を自分の言葉で他者に説明することができる。上記を筆記試験、小テスト、成果発表および社会人基礎力で総合的に評価し、90点以上をS(秀)、80－89点をA(優)とする。	細胞や組織の形態の特徴とはたらき、各器官の名称・構造・はたらきについての重要なキーワードを記憶している。また、各器官の場所やはたらき、特徴をある程度自分の言葉で説明することができる。講義内で得た知識を元に、その理解度を図る演習問題を出題基準に則て作成し、その解説を作成することができる。上記を筆記試験、小テスト、成果発表および社会人基礎力で総合的に評価し、70－79点をB(良)、60－69点をC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	○神経細胞と興奮 神経系の構成と概要を理解する 神経細胞の興奮と神経線維内を信号が伝わる仕組みを理解する	講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	神経細胞が興奮する仕組みを説明できる。	（予習）教科書p.192-208を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	○中枢神経系 脊髄と脳の構造およびはたらき、機能局在を理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	脳神経と脊髄神経の名称と機能局在を説明できる。	（予習）教科書p.192-198を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	○末梢神経系 脳神経と脊髄神経の配置および機能の局在を理解する 知覚神経と運動神経の走行と自律神経のはたらきを理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	知覚神経と運動神経の走行と主な枝の名前と支配領域を覚える。 自律神経の両神経支配を説明できる。	（予習）教科書p.200-203, 208-212を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○感覚器系① 皮膚の構造と体性感覚を理解する 特殊感覚（視覚器の構造と視覚感受のメカニズム）を理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	皮膚の構造と体性感覚の受容器を説明できる。 視覚器の構造を理解し、視覚感受のメカニズムを説明できる。	（予習）教科書p.216-217, 219-220, 222-224, 234-237を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	○感覚器系② 特殊感覚（聴覚、平衡感覚、味覚、嗅覚）の構造とメカニズムを理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	聴覚、平衡感覚のメカニズムを説明できる。 味覚、嗅覚などの化学受容器について説明できる。	（予習）教科書p.216-222を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	○循環器系① 心臓の刺激伝達系と心機能の調節を理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	心臓の刺激伝達系のしくみと心機能の調節を説明できる。	（予習）教科書p.131-136を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。 （予習）教科書p.128-131を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	○循環器系② 心電図が示すものと血圧調節機構を理解する ○泌尿器② 体液量調節の仕組みを理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	心電図が示すものと血圧調節機構を説明できる。 体液量の調節方法を説明できる。	（予習）教科書p.93-104を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	○呼吸器系① ガス交換の仕組みと呼吸運動の変化を理解する	復習テスト（解答・採点・解説） ディスカッション グループワーク 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	ガス交換のメカニズムと呼吸運動について説明できる。	（予習）教科書p.115-119を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	○呼吸器系② 呼吸中枢の場所とその調節機構を理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	呼吸運動の中枢を記憶し、呼吸中枢の調節機構を説明できる	（予習）教科書p.119-122を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	○泌尿器① 尿生成のメカニズムを理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	腎臓での尿生成のメカニズムを説明できる。	（予習）教科書p.128-131を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	○泌尿器② 体液量調節の仕組みを理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	体液量の調節方法を説明できる。	（予習）教科書p.131-136を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	○血液・リンパ系① 血液凝固の仕組みを理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	止血の3段階を覚え、血液凝固の仕組みを説明できる。	（予習）教科書p.84-86を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	○血液・リンパ系② 免疫① 自然免疫と獲得免疫の仕組みを理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	自然免疫と獲得免疫の仕組みについて違いとそれぞれの特徴を説明できる。	（予習）教科書p.225-230を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	○血液・リンパ系③ 免疫② 免疫異常（特にアレルギー反応）を理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション グループワーク 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	免疫異常やアレルギー反応のしくみや種類を説明できる。	（予習）教科書p.230-232を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。確認テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	○体温調節の仕組みとエネルギー産生機構を理解する	復習テスト（解答・採点・解説） 講義（予習課題の解説含） ディスカッション 確認テスト（解答・採点） Google classroomを活用した資料の配布、質問	体温調節機構を説明できる。エネルギー産生関連の用語を正しく理解する。	（予習）教科書p.237-238を読み、課題を行う。 （復習）授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。小テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力